

Rapport

2024
Number

127

多摩大学 | 広報誌 |

Vol.127 Contents

2024年度秋学期 褒賞者	02
〈経営情報学部〉2024年度 秋季卒業のつどい	03
【多摩大学学園祭】	
第36回多摩祭	04
第18回SGS-Festa	05
就職セミナー	06
2026年卒生対象「多摩大学 学内業界研究セミナー」	06
都立永山高等学校と本学が教育交流協定を締結	06
〈グローバルスタディーズ学部〉シンポジウム2024	07
ジェロントロジー企画第13弾「山梨県南アルプス市で稲刈り×講座」を実施	07
《特集》多摩大学学生社会ボランティアコーナー	08
多摩市産業振興マスタープラン策定へ学生が参画、成果発表会に参加	08

多摩大学 2024 年度秋学期 褒賞者

【経営情報学部】2024 年度 秋学期 優秀学生賞

科目名	学生氏名
ICT コミュニケーション入門	有川 英寿
	蒲谷 春人
	鴨下 紹矢
	豊岡 昂大
	ラン シシン
	リ トクカイ
IT 活用法	リュウ エキカン
	小野寺 葵
	永良 紫艶
IT パスポート	根本 武
	大竹 真央
アジア経済論	山賀 美空
	オウ エキキ
	カン ショウトウ
アジアと日本の歴史	コウ スビョン
	岩澤 章光
アントレプレナーシップ論	リュウ ショウリン
	高橋 あんり
	田端 恭輔
	時原 礼
	深澤 敬輝
English Expression I	バク ソヨン
	阿部 健太
	勝間田 隼人
	鴨下 紹矢
Web デザイン	野坂 明衣
	新井 健太
	小山 紗
	オン チョウサン
	平良 きよし
Web プログラミング実践	藤間 南々子
AI の活用基礎	大岡 千咲
会計入門	佐藤 利磨
韓国語 I	原田 佑晃
	片平 唯央
	剣持 陸
	後藤 大貴
	杉山 遼
韓国ビジネスコミュニケーション I	高野 友真
キャリア・デザイン I	三原 愛奈
キャリア・デザイン III	谷 七海
教育心理学	藤間 南々子
業界研究	吉田 真央
クラウドサービス活用	高橋 奈央
クリエイティブデザイン I (動画編集)	シト コウホウ
グローバルビジネス入門	藤間 南々子
	中野 諒
	阿部 航大
	井田 姫花
	大内 悠生
	荻野 凪流
	後藤 大貴
	齊藤 智史
	佐藤 蒼馬
	佐藤 利磨
	中村 唯花
	野坂 明衣
	森谷 舞音
	諸岡 優人
経営学入門	鎌田 智也
経営組織	佐藤 利磨
	ジョ テンタク
経済学入門	野澤 洸陽
	高橋 あんり
	阿部 航大
	奥田 直大
	金刺 浩志
現代欧州論	金子 一真
	野坂 明衣
	伊藤 真之介
	大江 憲佳
	斎藤 暖人
国際ビジネス論 II	坂本 ほんな
	萩原 蒼琉
	福田 健太
国際経済学	本田 隼大
	山賀 美空
財務分析	キム ドンミン
	シン イケツ

科目名	学生氏名
財務分析	チン ウヨウ
サービス産業論	下川 里織
	ショウ エイ
	ジョー ショー
	成田 涼介
サブカルチャー論	花山 浩聖
	シン イケツ
事業構想実践論	安西 佑騎
	高橋 あんり
	土居 俊平
	中村 佳鈴
事業構想論	大山 未来也
	カン ショウトウ
時事問題研究基礎	高橋 あんり
	手塚 琉久
	増村 和玖
情報と職業	竹中 海翔
	大林 愛礼
情報ネットワーク	小山 紗
	藤間 南々子
情報法	バン メイケン
	小山 紗
スタディースキル入門	阿部 健太
	飯田 瞬斗
	内山 航
	カ カイホウ
	片平 唯央
	加藤 隆之介
	金子 一真
	シュイヘイ
	シン イケツ
	関本 大輔
	タイ キンイ
	チョウ ランセン
	永良 紫艶
	長谷川 柊
マジョボン	
森嶋 祐貴	
スポーツ II	川尻 春太
	シト コウホウ
	小志 昂大
	藤間 南々子
地域ビジネスプランニング	中野 諒
地域金融論	キム ドンミン
中級簿記	高橋 和磨
中国ビジネスコミュニケーション I	ジョ テンタク
中国経済論	チン ウヨウ
	安西 佑騎
	シト コウホウ
	ショウ シリョウ
	中村 佳鈴
中国語 I	福島 拓実
	上妻 翔太
中小企業論	角田 空
	本間 匠太
調査実験入門	キム ドンミン
	土居 俊平
	坂本 凜
	鈴木 啓太
哲学入門	滝澤 駿介
	樋口 心愛
データサイエンス I (データ活用の基礎スキル)	渡辺 陽
	関口 珠望
データベース I (Access)	中水流 晴人
	小出 愛弥
デザイン思考	藤間 南々子
	ライ カン
TOEIC I	小山 紗
	平良 きよし
TOEIC III	藤間 南々子
	ジョー ショー
特別講座 I	與田 雄太
	柳澤 孝彰
日本語講座初級	平良 きよし
	成田 涼介
特別講座 II	キム ドンミン
	成田 涼介
特別講座 III	キム ドンミン
	チョウ イツショウ
特別講座 IV	小山 紗
	下川 里織
特別講座 V	藤間 南々子
	タイ キンイ
特別講座 VI	ラン シシン
	ラン シシン

科目名	学生氏名
日本語講座中級I	ジョソウヒ
認知心理学	岡安 大我 田中 優菜
東アジア入門	コウ シャクカン 野上 隆之介
BE 実践 III (財務)	大高 空真 齋藤 鼓子
Practical English Conversation I	チョウ イツショウ 中田 寛人
文化人類学	平良 きよし 花山 浩聖
ビジネスモデル設計	高橋 和磨 栃木 美咲 藤平 夏実

科目名	学生氏名
ビジネス数学I(線形代数)	女部田 藍琉 鈴木 啓太
ビジネス法	小山 紗
プログラミング言語(C#)	平良 きよし
プログラミング入門	佐藤 利磨
マーケティング・リサーチ	花山 浩聖
マクロ経済学	シト コウホウ 中野 諒
ユーザインタフェース	オウ タクブン キム ドンミン 高橋 瞭
ライフ・デザイン	木下 翔太 小島 空翔 ジョソウヒ

※科目名 50 音順

2024 年度秋学期 成績優秀者奨学金奨学生

学業及び成績が優秀で人物及び健康ともに優れ、他の規範となる学生に対して、多摩大学奨学金規程に基づき審査を経て区分に応じた奨学金を支給しています。

●経営情報学部

■ 1 年次

・区分 1

学生氏名
野坂 明衣

■ 2 年次

・区分 1

学生氏名
藤間 南々子

■ 3 年次

・区分 1

学生氏名
高橋 あんり

・区分 2

学生氏名
大村 彩華
岡藤 晋太郎
奥田 直大
尾関 雄亮
片平 唯央
加藤 匠人
金子 一真
金子 尋斗
鴨下 紹矢
剣持 陸
斉藤 智史
佐藤 利磨
清水 勇利
シャキヤ サミヤク
関本 大輔
長久保 琉聖
中村 唯花

・区分 2

学生氏名
小貫 快斗
小山 紗
佐藤 虎太郎
佐藤 美歩
鈴木 夏生
関口 琢望
平良 きよし
高橋 瞭
谷 七海
中野 諒
花山 浩聖
パン メイケン
樋口 心愛
平山 遥人
堀越 雪那
晦日 伶菜
森 一明
山畑 祐也

・区分 2

学生氏名
板垣 大地
オウ エキキ
大内 一輝
大林 愛礼
木下 明音
サイ ウフ
齋藤 鼓子
佐野 聡太
高橋 和磨
高橋 奈央
高橋 華子
竹中 海翔
田中 優菜
田端 恭輔
チン ウヨウ
福島 花音
柳澤 孝彰
吉田 真央
與田 雄太

●グローバルスタディーズ学部

■ 1 年次

・区分 1

学生氏名
ベン リチャ

■ 2 年次

・区分 1

学生氏名
五十嵐 蓮

■ 3 年次

・区分 1

学生氏名
廣瀬 久流美

・区分 2

学生氏名
相原 亮汰
安藤 美咲
カリアシロフアンフェク
清水 麻祐
須藤 颯
高橋 ヲダチャリヤ 汐奈
辻戸 孝公
ヤン イー

・区分 2

学生氏名
石坂 萌
嶋村 東人
大島 夏鈴
川合 愛海
齋藤 那菜子
佐藤 愛花
チン ジユウ
中村 晃大
山田 陸翔

・区分 2

学生氏名
尾崎 菜瑠実
片山 璃昂
木村 泉葵
長沼 さくら
樋園 隼一
舟瀬 妃子
谷田部 まい子
横山 譲
リク シュンセイ

※氏名 50 音順

※学年は 2024 年度のものとなります

2024 年度 秋季卒業のつどい

2024 年 9 月 14 日 (土) 多摩キャンパスにて、「2024 年度 多摩大学 秋季卒業のつどい」を執り行いました。今年度の秋季卒業生は 8 名、式典に出席した卒業生 4 名には、小林英夫 経営情報学部長から学位記が授与されました。

杉田文章副学長は、「コロナ禍の入学は学生にとって大きな試練であったと思う。皆さんが積み重ねてきた学習の成果は、困難を解決した時に自覚するでしょう。人生 100 年時代といわれる今、一生学び続ける姿勢が大切です。労を厭わず一生勉強という気持ちで前向きに一步步進んでいけば必ずより良い未来が待っていることでしょう」とお祝いと励ましのことを伝えました。就職委員長の金美徳教授は、「皆さんは授業で教養を身につけ、寺島実郎学長監修リレー講座で最先端のリーダーたちの講義を通じて、世界を知る力や時代を認識する力を身につけたと確信しています。今後は社会に貢献していただくと期待しています」と祝辞を述べました。卒業生の天摩零さんは、「私たち一人一人が戦い挑戦し続けねばならないことを学びました。卒業後は多摩大学で培った経験をもとに、挑戦し喜びを分かち合い歩み続けていこうと思います。学びの場を与えてくれた先生方、職員の皆様、支えてくれた家族に感謝します」とお礼の言葉を述べました。参加者一同で学園歌を斉唱し、和やかな雰囲気の中で卒業のつどいは終了しました。



卒業生代表の天摩零さん



第36回 多摩祭 2024

ハロウィンパーティー 2024

2024/10/19 土



模擬店



多摩祭実行委員会



緑日

屋外では模擬店、アリーナではハロウィン緑日、001教室では仮面ライダーガヴショーを開催。学食体験、たまハロスタンプラリー、図書館を開放し古書の無料配布や本探しゲームなど家族で楽しめるイベントも開催されました。

中国・モンゴル文化体験



屋内イベント



ウクライナ支援チャリティー企画



音楽連合:ライブ



ゼミ発表



後夜祭



多摩大生を対象とした後夜祭では、EスポーツTFC決勝戦、(Mr.Xからの挑戦状)解説、タマスビグランプリ発表、芸能人パフォーマンスを開催

多摩祭を終えて

「多摩大学 多摩祭 ハロウィンパーティー 2024」にご来場いただいた方々、そして運営にご協力していただいた教職員及び学生の皆様、多摩祭を盛り上げてくださり誠にありがとうございました。改めて、感謝を申し上げます。

去年の多摩祭は、コロナ禍の多摩祭から規制も解除され、大きく変化した年です。そこで、今年は去年の多摩祭の熱を絶やさず、繋いでいくことを目的として多摩祭を行いました。正直、当日を迎えるまで「ちゃんとお客様は来てくれるのだろうか」と、とても不安な気持ちが私の中で渦巻いていました。しかし、多摩祭が始まった瞬間、多くの方々が来場してくださり、一日通して大いに盛り上がった多摩祭となりました。これも、参加団体の皆様、教職員の皆様、多摩祭実行委員会、そして多摩祭に来場してくださった皆様あってこそそのモノです。来年も皆様が「楽しかった」「また参加したい」と思ってもらえる学園祭を目指していきますので、今後とも多摩大学 多摩祭を、どうぞよろしくお願い致します！

多摩祭実行委員会一同・多摩祭実行委員長 伊藤 圭哉

SGS Festa を終えて

前日は大雨に見舞われた藤沢市でしたが、当日は雲ひとつない晴天に恵まれ、学生全員の協力のもと、学園祭は大成功を収めました。数日が経過した今でも、その余韻に浸りながら振り返っています。

今年のスローガンは「SGS Festa by New Generation ～ようこそ、想像を超えるぶっ飛んだ学園祭へ～」でした。委員長1名、副委員長2名という3人体制から新たな取り組みが始まり、準備段階から当日まで、一人一人が個性を活かしてほしいという強い思いを込めました。その結果、当日は予想以上に多くの新しい発見と、普段では見られない一人一人の輝きがあふれる素晴らしい時間となりました。

また、今回の学園祭は、多摩大学湘南キャンパス学園祭にご協力いただいた保健所や消防の方々、そして協賛先や後援会の皆様のご支援があってこそ実現したものです。スローガン通りの素晴らしい学園祭を作り上げることができたのも、皆様の温かいご協力とご尽力のおかげです。心より感謝申し上げます。

来年も同じ熱い思いを胸に、後輩たちにしっかりと引き継ぎ、さらに素晴らしい学園祭を創り上げていけるよう努力してまいります。

SGS Festa 実行委員一同・SGS Festa 実行委員長 中澤 凜

第18回 SGS Festa 2024

New Generation

～ようこそ想像を超えるぶっ飛んだ学園祭へ～

2024/11/3 日



新美潤学部長による開会の挨拶と学園祭実行委員

屋外には模擬店が並び、体育館ではクイズ大会、スペシャルライブを開催。アゴラでは韓ゼミやクルナザロバゼミの展示発表、2階の各教室では留学体験発表、縁日、渡邊ゼミ、クリエーションサークルの展示発表がありました。



韓 準祐ゼミによる展示発表



屋内イベント

留学・海外研修の体験発表。交換留学生による文化紹介、展示による紹介



後夜祭

2024年10月19日(土)、多摩キャンパスにて、経営情報学部 就職セミナー(経営情報学部後援会 主催)を開催しました。

後援会会長、小林英夫 経営情報学部長の挨拶に始まり、第1部は講演「2026年卒生の就活トレンドについて」(講師:株式会社学情 キャリアサポート部特任部長 東修三氏)、第2部はトークセッション ～卒業生・4年生内定獲得者に聞く多摩大生就活のリアル～(卒業生1名、4年生3名、ファシリテーター:株式会社学情 東修三氏)を行いました。第1部では、インターンシップ・オープンカンパニー、就活スケジュール、企業の採用活動、学生の就職活動、企業の声、学生の弱点、親(保証人)としての関わり方などについて解説しました。第2部では、卒業生と学生が自己紹介とともに就職先や内定先、就職活動を始めた時期やエピソード、学生時代に頑張ったこと、大変だったこと、親との関わり方で良かったこと、親に伝えたいことなどを語り合いました。



トークセッションの様子

2024年11月3日(日)、湘南キャンパスにて、グローバルスタディーズ学部 就職セミナーを開催しました。

はじめにグローバルスタディーズ学部 今村康子 就職副委員長が保証人の方々へのご挨拶を差し上げ、キャリア支援講座や3学年対象の進路確認面談、卒業生の就職状況など本学部のキャリア支援体制について紹介しました。続く講演「変化する新卒採用と就職活動～保護者によるキャリア支援の必要性～」(講師:就職情報研究所 所長 平野恵子氏)では、新卒採用の市場環境、学生の企業選びの実態、就職活動スケジュールとその特徴、新卒採用の特徴的な動き、生成AIを活用した就職活動の現状、新しい就職活動支援ビジネス、保護者によるキャリア支援、大人(社会人)になりにくい社会環境、「保護者」の立場から「支援者」へ、(学生コメントから見る)就活中の支援など、保護者(保証人)の方に向けて就活に関する興味深い話が語られました。



平野恵子氏による講演と会場の様子

2026年卒生対象「多摩大学 学内業界研究セミナー」

2024年11月11日(月)、多摩キャンパスにて、2026年卒(3年生)約240名を対象とした「多摩大学 学内業界研究セミナー」を開催しました。毎年開催される「学内業界研究セミナー」は、就職活動がスタートした3年生にとって、企業と少人数で対面し直接、情報を得ることができる貴重な機会となります。内定実績や卒業生が在籍する企業を中心に各業界から10社にご参加いただきました。

浜田正幸 就職副委員長は、「今回の説明会は企業と直接対面できる大きなチャンス。自ら積極的に動いて就活本番の感触をつかんでほしい。チャンスを活かして楽しんで頑張ってください」と学生に意欲を促しました。参加企業は001教室で自社紹介を行った後、ブースとなる各教室に分かれて各回30分3回のセミナーを実施しました。学生たちはスーツを着用し身だしなみを整えて臨み、自ら希望する3社を訪問、社員の方々による業界案内、企業の事業や業務の説明を熱心に聞いていました。

【参加企業】株式会社インベーションオブメディカルサービス、ANA エアポートサービス株式会社、エム・ケー株式会社、京王観光株式会社、コーナン商事株式会社、JA 東京中央会、多摩市役所、多摩信用金庫、三井情報株式会社、渡辺パイプ株式会社



自社紹介と会場の様子



企業の説明会に参加する学生たち

都立永山高等学校と本学が 教育交流協定を締結

2024年11月11日(月)、本学と東京都立永山高等学校(東京都多摩市、校長:佐藤俊一氏)(以下「永山高校」)は、相互の交流を通じて生徒の視野を広げ、学習意欲を喚起するとともに、主体的な進路選択の意識を高めることで能動的に活動できる人材を協働で育成するため、永山高校にて教育交流協定を締結しました。

今後は、「探究学習」における情報交換および交流、授業等の協力、キャリア支援等の教育交流活動に取り組んでいきます。



(左) 都立永山高校 校長 佐藤俊一氏、
(右) 本学副学長 杉田文章

グローバルスタディーズ学部 「シンポジウム 2024」開催

2024年10月22日(火)、Fプレイス(藤沢市藤沢公民館・労働会館等複合施設)にて、2024年度グローバルスタディーズ学部(SGS)主催シンポジウム「21世紀の世界秩序と日本の再生」を開催しました。本学部は2007年の創立以来、地域に根差し、地域に愛される存在となることを目指し、その国際性、観光学等の専門性を活かした社会貢献活動に力を注いできました。このシンポジウムもその一環であり、今年で13回目を迎えます。シンポジウムには、鈴木恒夫藤沢市長をはじめ行政関係者や市民など多数の参加がありました。

新美潤グローバルスタディーズ学部長は、「多摩大学は地域に根ざした愛される存在となるため社会貢献に尽くしていきたい。SGSの学生と教職員は藤沢市の飲食店を紹介するサイト『FUJISAWA Foodies』の英語、韓国語、中国語サイトを担当、湘南台小学校では各国の児童を対象とした国際教室で日本語学習の手伝いをしています。今回の講演では、寺島実郎学長が世界秩序の大きな動きの中における日本の今後の展望、今村康子准教授は航空会社での実務経験をもとに観光レジャー産業、接客サービス産業における人材育成についてお話しします」とシンポジウムの内容を説明しました。鈴木恒夫藤沢市長は、「藤沢市は多摩大学、藤沢市観光協会の三者で観光に関する連携協定を締結。多摩大学には観光に関するアンケート調査やパブリックコメントにも参加してもらい有意義なご意見をいただいています。インバウンドなど藤沢市の令和5年の年間観光客数は1960万人と過去最高、花火大会には4万人の来場者がありました。20年後の課題を見つけて皆で解決していく取り組みもあり、皆さんとともに市政を進めていきたい」と述べました。今村康子准教授は『観光系人材の育成』と題して、「グローバルスタディーズ学部での学び、観光サービス高度マネジメント、顧客との長期的な関係構築、デライトとは?、顧客満足、サービスエクセレンスモデル、客室乗務員のおもてなしの科学、接客行動モデル、地元を学ぶ、地域活動への参加、連携プロジェクト、海外研修、2024年卒就職先」などの項目を解説しました。寺島実郎学長は基調講演『21世紀の世界秩序と日本の再生』で、21世紀の日本経済の実体、世界のGDPシェアの推移、情報・文化産業の変化、技能五輪国際大会、日本再生の構想の骨格、ジェロントロジー(高齢化社会学)、都道府県別総人口増加率などについて、数値やグラフをもとに最新状況を講じました。



新美潤グローバルスタディーズ学部長



鈴木恒夫藤沢市長



今村康子准教授



寺島実郎学長



会場の様子

ジェロントロジー企画 第13弾 「山梨県南アルプス市で稲刈り×講座」を実施

2024年9月8日(日)、多摩大学「ジェロントロジー企画」第13弾「山梨県南アルプス市で稲刈り×講座」を実施しました。本企画は、「多摩大学 寺島実郎監修リレー講座」の受講者を対象に、農業体験を通してリタイア後の世代が新たな社会参画を考える企画として2017年より開始したもので、田植え等を含めて今回で13回目の実施となります。

はじめに、これまで農業体験でお世話になっている農業体験民宿「南アルプスサンクチュアリガーデンハウス」で稲刈りの準備をして棚田へ向かいました。第12弾(2024年5月)の企画において植えた苗が田んぼ一面に実った稲として広がっている光景をいざ目の当たりにすると、参加者の気分も高揚していきました。作業中は、晴天に恵まれるも照りつける太陽の陽ざしは厳しく、参加者は汗を流しながら刈り取りを行いました。刈り取った稲は麻縄で縛り、陽に当て干して乾燥させる「はざかけ」を行うため、「うし」と呼ばれる器具を組み立て干していきました。こうした一連の作業を一般参加者、学生、教職員で力を合わせながら行いました。

その後、疲れた体を癒し、汗を流すため「やまなみの湯(南アルプス市交流施設)」へ移動しました。温泉につかった後は、「fumotto(フモット)南アルプス」に移動し、昼食をとり、講座を受講しました。fumotto(フモット)は、南アルプス市の魅力を発信する体験型複合観光施設として、2024年6月にオープンした施設です。昼食は、buffetレストラン fumotto DININGにて、採れたての新鮮な野菜が豊富に揃うメニューを、美味しくいただきました。

引き続き同会場にて、南アルプス市教育委員会文化財課のご協力により「フモットの下に眠る弥生時代から現代まで2千年の歴史～最新発掘調査による交流の歴史～」をテーマに講座を受講しました。フモットが建つエリアは南アルプス市内でも遺跡が最も集中する区域で、建設される前には広大な面積の発掘調査が行われました。弥生時代から現代にいたるまで、発掘された土器等の現物も手に取って見学させていただき、信州、駿河との交流の歴史についてお話いただきました。まだまだ残暑の厳しい中、長い一日となりましたが、生産活動を経験し、歴史と文化を学ぶ充実した時間となりました。



多摩大学でボランティア活動に参加してみませんか？

多摩大学では学生のボランティア活動が行われています。多摩大学学生社会ボランティアコーナー（以下「ボランティアコーナー」）と学生のボランティア活動や参加方法について、ボランティアコーディネーターの**ひびのいさお** 日比野勲さんに聞きました。

Q1. 多摩大学のボランティアコーナーでは何が行われていますか？

A1. 主に以下のことを行っています。

①ボランティア活動情報の収集、提供、蓄積

→ ボランティア活動情報を紹介したり、T-NEXTを通して情報を発信したりしています。

②ボランティア活動や社会貢献活動に関する相談対応

→ ボランティア活動についての質問、運営や立ち上げに関する相談など、幅広い問い合わせに対応しています。

③ボランティア活動や社会貢献活動に関わるきっかけとなるイベント・講座等の開催

→ 1日体験型のボランティアプログラム「多摩大学ボランティア体験プログラム」の実施、ゲストを招いて活動を紹介する「多摩大学ボランティアカフェ」の開催などがあります。

Q2. どのようなボランティア活動がありますか？

A2. 継続性のあるもの、単発型のもの、宿泊を伴い一定期間で実施されるもの（「ワークキャンプ」と呼ぶことも）があります。継続性のあるプログラムは、子どもと関わる活動や福祉施設などにおける活動など、主に人との関係性が重視される活動に見られる傾向にあります。また単発型の活動は、イベント運営のボランティア等に多く見られます。ほかにも国際交流のフェスティバルや野外音楽フェスのごみ分別ボランティアなど、さまざまなボランティア活動があります。

Q3. 多摩大生はどのようなボランティア活動をしていますか？

A3. まちづくりに関する活動や、IT教育に関する活動、環境ボラ

ンティア活動や国際交流ボランティア活動などに関わっている学生さんがいらっしゃいます。「多摩大学ボランティア体験プログラム」として、例年5月のゴールデンウィークの時期に行っている「カンボジアフェスティバル 運営ボランティア活動」は、国際交流のお祭りの運営に関わりながら自らも楽しむという性格の活動だったこともあり、笑顔で生き生きと活動していました。フェスティバルのフィナーレでは、ボランティアもステージに上がって皆で踊りました。ボランティア活動を通じて初めて出会った人同士の距離がグッと縮まる瞬間でもあり、とても印象的な光景でした。さらに9月に実施したビーチクリーンのボランティア活動には、「カンボジアフェスティバル」のボランティアに参加した学生数名が、運営メンバーとして関わってくれました。再会の場にもなったようで、活動では笑顔が絶えることがありませんでした。

Q4. ボランティア活動の魅力は何ですか？

A4. ボランティア活動は「奉仕」とはちょっと違います。あなたが得意なこと、好きなこと、やりたいこと、放っておけないこと。そうしたことに、誰から指示されることもなく、自分の意思に関わるかどうかを決められる活動です。ボランティア活動の魅力は多くの人やコトとの「出会い」があることに尽きるとしています。そうした出会いは、今から少し先のあなたの未来を（よい意味で）思いもよらない展開へと導いてくれるかもしれません。

問い合わせや関心のある方は、ぜひボランティアコーナーを訪ねてください。



カンボジアフェスティバル in 代々木公園



ビーチクリーンアップ in 由比ガ浜海岸



多摩市産業振興マスタープラン策定へ学生が参画、成果発表会に参加

多摩市が策定を進める「(仮称) 多摩市産業振興マスタープラン」に、4名の本学経営情報学部生が参加しました。マスタープランは、多摩市における中長期的な視点による産業振興の方向性を示し、計画的に産業振興施策を進めていくことを目的に策定されるものであり、推進会議において素案を策定するものです。これらを検討するにあたり3つの作業部会が設置され、市内の社会人と近隣の大学生からなる3チームにより検討が行われました。

月に一回、6回にわたり行われた部会の最後には、検討結果の成果発表会が催されました。成果発表は推進会議委員に対して3部会それぞれからプレゼン形式で行われ、目指す姿など検討の方向性を設定し、目標値と指標設定などの説明と具体的な提案が行われました。発表後は部会メンバーと推進会議委員との間で提案内容について意見交換が行われ、委員からのコメントや応答などが活発に行われました。

部会の成果は、推進会議において施策の方向性や施策案に取り入れられ、素案となり、市民の意見を聴取後、計画原案が多摩市経営会議で決定される予定となっています。参加した学生は、地方自治体の計画施策を経験することで、施策立案に必要な考慮事項や議論の組み立てを学ぶとともに、社会人を含めた参加メンバーとの議論により多くの経験値を得ることができました。

本学学生が市政参加の機会を得たことに感謝するとともに、今後ともまちづくりや市政へ積極的に参加することで、学生の修学機会の創出に努めてまいります。

